

科目名	基礎看護学演習			分野・必選別・ 単位数	専門科目 (基礎看護学)	選択必修	4単位
担当教員	◎准教授 新井直子 准教授 砂見緩子 准教授 伊豆上智子						
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	基礎看護学特講Ⅰ・Ⅱを通して学習した視点をを用い、科学的思考過程に基づく看護技術や看護実践に関して、その適用や評価に関する学術情報を活用し、批判的吟味をする。また、関連文献を批判的に吟味することにより、看護技術や看護実践に関して新たな知見を得て、より効果的な看護実践方法を探求するための基礎的な研究推進能力を習得するとともに、自己の研究課題を明確化し、その探求方法について検討する。						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自らの関心に沿ったテーマについて関連文献を講読し、議論することができる。 2. 文献検討の成果を手がかりに自己の研究課題を述べることができる。 3. 自己の研究課題を遂行する方法を説明できる。 						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	<p>【第1回】 科目概説:演習の概要を理解し、今後の演習計画を立案できる。</p> <p>【第2回～第10回】 自らの関心に沿って文献検討をすることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・自らの関心に沿ったテーマとその動機となる背景を説明できる。 ・自らの関心に沿ったテーマについて、文献検討の方法を説明できる。 ・自らの関心に沿ったテーマについて、文献検索ができる。 ・検索した文献に対し、批判的に吟味することができる。 </p> <p>【第11回～第20回】 文献検討の結果から自己の研究背景と研究課題および研究目的を明確にする。 <ul style="list-style-type: none"> ・文献検索の実際を説明できる。 ・文献検討した内容を整理し、説明できる。 ・文献検討を基に、自らの関心に沿ったテーマに関する研究動向を説明できる。 ・自己の研究課題を焦点化し、説明できる。 ・自己の研究目的を説明できる。 </p> <p>【第21回～第30回】 自己の研究課題に取り組むための適切な方法について討議できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・研究目的に応じた研究デザイン、研究方法、倫理的配慮について討議できる。 </p>						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	事前指定した文献に加え、関連文献の次回授業部分を事前に読んでおくこと。必要な資料は、事前に配布し、プレゼンテーションの準備を整えておくとともに、ディスカッションができるよう準備しておくこと。					
	【事後学修】	授業中に生じた疑問・課題は、文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に60時間以上の予復習が必要。					
教科書	特に定めない。授業の中で適宜紹介する。						
参考書	特に定めない。授業の中で適宜紹介する。						
成績評価の方法および基準	プレゼンテーション100%(妥当性・適切性・資料の作成・発表の内容と方法)により評価する。						
その他履修上の注意事項	レポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行うので活用すること。 カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示しているのを確認すること。						